

札幌で働く女性の
1日をCheck!

CASE 2



おのほみ
小野 帆美さん

夫(30歳)、長男(7歳、小)、
次男(5歳、年中)と4人暮らし。

30歳。美容メーカーのショップオ
ナー。シフト勤務。スタッフ15人
のマネジメント・教育を中心に自身
も接客・販売を行っている



次男のお迎えに保育園へ。小野さんを見つけると、いつもうれしそうに駆け寄ってきます

家事は苦手(笑)。周り比べず、 自分を受け入れたらラクになりました

若くして出産するも すぐに「もっと働きたい!」

美容の道を志して就いたホテルエステの仕事を辞め、23歳で長男を出産。でも「周りはまだバリバリ働く友人ばかり。早く外に出たい、女性として美容業界でもっと働きたい」と、24歳で現在の会社に入社しました。スタッフとしてスタートし、店舗オーナーを務める現在は「完全な休みは週1日あればいい方」と話すハードな毎日です。

「自分のことは自分で」。 子ども扱いしない子育て

仕事への理解が薄かった夫も、徐々に家事をしてくれるように。今では、キャパオーバーだと思ったら、すぐにヘルプを頼んでいます。子育てでは「自分のことは自分で」と子ども扱いしないのが小野さん流。「例えば忘れ物しても「ママは悪くない。困るのは自分だよ」って(笑)。そのうち必要なことは自分から言ってくれるようになりました。いつも助けられています」。

周り比べると辛くなる。 自分を受け入れました

「仕事と家事の両立はできていないんです」と笑いますが、再就職した当初は焦りもありました。「家事がとにかく苦手だし、子どもにも時間を取られる。思い通りにならなくて余裕がなかった」と話します。また「働いていてもご飯をちゃんと作ったり、家をきれいにしている人はいる。周り比べてしまい辛くなっていた」という時期も。「でも、自分には無理だと受け入れてからラクになりましたね」。

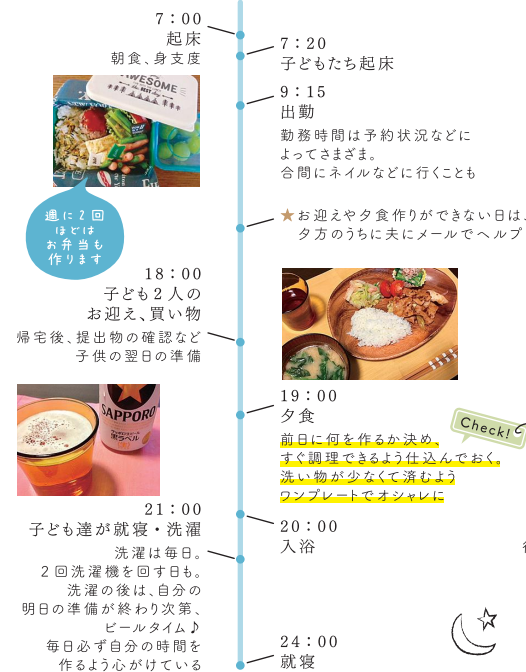
信頼と感謝を忘れず、 目標に向かって前進!

仕事でも「私にはできないことができるスタッフばかり。いつも『ありがとう』と言っています」。相手を信頼し、任せることで多忙な毎日を明るく乗り切っているようです。「もっと店舗を増やしたいし、1人で多くマネージャーを育てたい」と瞳を輝かせて話してくれました。

小野帆美さんの
MY「ゆる家事」ルール

できない自分を受け入れ、周囲を信頼して任せる

Working day 仕事の日



小野帆美さんの1日

Holiday 休みの日



田川さん's
Check

仕事があって忙しい日でも、夕食を前日から決めてるのはとてもいいですね。洗剤を減らすためにワンプレートにする工夫も◎。洗剤が少ない点を利用して、お子さんにも片付けを手伝ってもらえば、お子さんの家事力もアップします。

